

## 第5回日本環境経営大賞「環境プロジェクト賞」を受賞 ～CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」～

記者各位

～CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」～ 第5回日本環境経営大賞「環境プロジェクト賞」を受賞

当社(社長:西尾 進路)は、CO2削減を推進する「ベトナム・ランドン油田随伴ガス回収・有効利用CDMプロジェクト」が評価され、第5回日本環境経営大賞の「環境プロジェクト賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

「日本環境経営大賞」とは、学識経験者などから構成される日本環境経営大賞表彰委員会および三重県が主催する表彰制度で、「持続可能な社会の構築」を目指し、「環境経営の発展」、さらには、「環境文化の創造」を目的として、2002年度から毎年、優れた環境経営の実践や、環境価値創造への貢献などについて、その功績を称えるために実施しているものです。

当社は、グループの石油開発プロジェクト会社がオペレーターとして操業するベトナムのランドン油田において、CO2排出削減プロジェクトを推進しています。2006年2月、CO2削減としては世界最大規模であり、原油生産に伴う随伴ガスを回収・有効利用するプロジェクトとしては世界初となるCDMとして、国連機関(CDM理事会)の承認を受けました。今回、この取り組みが高く評価され、同賞を受賞したものです。

当社は、経営理念に「Environmental harmony(地球環境との調和)」掲げ、「環境」をCSRの中の最重要分野と位置づけており、今後とも温暖化対策を始めとする地球環境保全に努め、サステナブル(持続可能)な社会の創造に貢献してまいります。

### 記

#### 1. プロジェクトの概要

ランドン油田(海上)での原油生産の際に発生する随伴ガスは、従来、海上で燃焼させていましたが、この随伴ガスを回収し、新たに海底に敷設したパイプラインにより、発電燃料としてベトナム国内の発電所に供給します。これにより、既存の発電燃料の消費を削減でき、約680万トン(年間68万トン)のCO2削減が可能となります。

#### 2. プロジェクトの特長

##### (1)CO2削減として世界最大

本プロジェクトは、年間約68万トンのCO2の削減が見込まれ、CO2を削減するCDMとしては世界最大級の事業となっております。

##### (2)随伴ガス回収・有効利用として世界初

当社は、ランドン油田において、世界に先駆けて随伴ガス回収・有効利用のCDMを手がけ、その方法論(国際ルール)を自ら提案いたしました。当社の提案は、CDM理事会の承認により世界初の当分野の方法論として確立され、今後、世界各地の随伴ガス回収・有効利用によるCO2の削減に地球規模の貢献ができるものと考えております。なお、本プロジェクトにおいて、当社は、方法論の確立、CDMのプロジェクト設計書の作成、日本政府承認、CDM理事会への申請・承認に至るまで、全工程を自社で行いました。

#### 3. ランドン油田の概要

ランドン油田はベトナム南部沖合の15-2鉱区に位置する海上油田であり、当社の石油開発部門である新日本石油開発(株)が出資している日本ベトナム石油(株)がオペレーターとなり、コノフィリップスやベトナム国営石油会社と共に、1998年8月より原油の生産を開始し、2005年6月に累計原油生産量が1億バレルに達しました。現在の生産量は6万バレル/日です。

##### (1)ランドン油田の権益比率

日本ベトナム石油(株) 46.5%

コノフィリップス社 36.0%

PVEP社 17.5%

※ PVEP社(Petrovietnam Exploration and Production):ベトナム国営石油会社の子会社

##### (2)日本ベトナム石油(株)の株主構成

新日本石油開発(株) 53.13%

新日石資源投資(株) 43.94%

三菱商事(株) 2.93%

 『プロジェクトの概要・ランドン油田写真・ランドン油田鉱区図』(PDF:144.5KB)